

。○。○。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2015. 11. 9

下水道機構の『新技術情報』 第211号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。○。○。

「戸締り用心、火の用心♪」秋も深まり、我が家の近所では、夜になると拍子木の音色が響きます。地域の方々の夜回りの囃子を聞くと安心感があります。感謝ですね。今日11/9は、119番の日だそうです。皆さま、改めて今日は戸締り用心、火の用心でお過ごしください！

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第211号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・12/1(火)に新技術現場研修会を開催します！

■機構の動き

- ・今週は、11/11(水)に新技術セミナー@東京会場、12(木)に技術サロンを、13(金)に中川水循環センターにおける下水由来クリーン水素の需要・利用に関する協議会を開催します

■Tea Break

- ・夏の気候とスギ花粉 (資源循環研究部 花粉症持ちのIさんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・本日は、お休みします m()m

■国からの情報

- ・11/6付下水道ホットインフォメーション

。○。○。○。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。○。○。○。

●12/1(火)に新技術現場研修会を開催します！

下水道機構では、下水道事業等の施設建設や維持管理等新技術等について、業務の

実態把握と意見交換等を目的とした新技術現場研修会を実施しています。

今回の現場研修会は、横浜市川井浄水場（セラロッカ）の視察を行います。川井浄水場は明治 34 年に創設された、道志川系統を水源とする横浜市内で最も古い浄水場で、平成 21 年度から再整備が進められ、セラミック製の膜モジュールを使用した日本最大規模の膜ろ過施設として平成 26 年 4 月に完成しました。当事業は日本で初めて浄水場施設全体の更新と運営・管理を P F I 方式で実施しており、また、取水施設からの高低差の自然エネルギーを最大限活用し、水源から膜ろ過施設の浄水まで電力を使わずに運転が可能な、環境にやさしい浄水場となっています。

下水道事業においても参考事例となる川井浄水場を視察し、知見を広げることを目的として、現場研修会を行います。

なお、本研修会は横浜市水道局様、ウォーターネクスト横浜（株）様のご協力を得て開催するものです。

行 事：第 64 回（平成 27 年度第 1 回）新技術現場研修会

場 所：横浜市川井浄水場（横浜市旭区上川井町 2555 番地）

日 時：平成 27 年 12 月 1 日（火）14：00～16：30 受付 13：00～

集合場所、集合時間：小田急江ノ島線、東急田園都市線中央林間駅 13：30 集合

解散場所：小田急江ノ島線、東急田園都市線中央林間駅

※川井浄水場～中央林間駅の移動（往復）は当機構がチャーターした貸切バスにより移動いたします。

対象者：下水道機構の出捐団体・賛助会員及び公共団体等の下水道技術者

定 員：45 名（定員になり次第締め切らせていただきます。）

※申込み多数と予想されるため、原則、1 機関 1～2 名とし、先着順に受けさせていただきます。

参加費：無料

※お申し込みはこちら

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/workshop-at-site/workshop-at-site-form>

。○。

機構の動き（機構の行事予定です）

。○。

●平成 27 年 11 月 11 日（水）13：00～16：45【東京会場】

平成 27 年 11 月 24 日（火）13：00～16：45【大阪会場】

行 事：第 62 回下水道新技術セミナー

テーマ：下水道における浸水対策の推進について

場 所：東京都港区 発明会館 【東京会場】

大阪市西区 大阪科学技術センター【大阪会場】

※参加お申し込みはこちら（大阪会場の申し込みは締め切りました）

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/new-tech-seminar/seminar-info>

●平成 27 年 11 月 12 日(木) 17:00~18:00

行 事 : 第 342 回技術サロン

場 所 : 機構 8 階 中会議室

ゲスト : 東京ガス株式会社 エネルギー企画部 部長 荒 正仁氏

テーマ : 『東京ガスにおける水素社会への取り組み (仮題)』

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

●平成 27 年 11 月 13 日(金) 10:00~

行 事 : 平成 27 年度 第 1 回中川水循環センターにおける下水由来クリーン水素
の需要・利用に関する協議会

場 所 : さいたま共済会館 5 階 504 会議室

案 件 : (1)本協議会設立の趣旨

(2)埼玉県クリーン水素供給事業の意義について

(3)今後のスケジュールについて

○平成 27 年 11 月 17 日(火) 14:00~17:30

行 事 : 平成 27 年度 第 2 回汚泥処理技術共同研究委員会

場 所 : 機構 8 階 特別会議室

案 件 : (1)嫌気性消化法の導入マニュアル策定に関する共同研究

(2)消化ガス発電普及のための導入マニュアル策定に関する共同研究

(3)省エネ型汚泥処理システムの構築に関する共同研究

○平成 27 年 11 月 19 日(木) 14:00~16:00

行 事 : 平成 27 年度 第 2 回管路技術共同研究委員会

場 所 : 機構 8 階 特別会議室

案 件 : (1)下水道管路施設へのフラッシュゲートの適用に関する共同研究 (継
続)

(2)マンホールポンプの長寿命化等に関する共同研究 (継続)

(3)ボルトテックスバルブに関する共同研究 (継続)

○平成 27 年 11 月 20 日(金) 13:00~15:00

行 事 : 平成 27 年度 第 2 回新技術設計手法等共同研究委員会

場 所 : 機構 8 階 特別会議室

案 件 : (1)下水処理場等における効率的な管理・運営のための情報共有等
に関する共同研究 (継続)

。 。 。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。 。 。

●夏の気候とスギ花粉 (資源循環研究部 花粉症持ちの I さんからの投稿です)

先日、夏の気温は翌春のスギ花粉飛散量に関係するという情報を耳にしました。日

★★★★★ ラインナップ ☆☆☆☆☆

- 下水道技術ビジョン説明会のお知らせ【国土交通省国土技術政策総合研究所】
- アセットマネジメントの国際ワークショップの開催【一般社団法人京都ビジネスリサーチセンター】

○国土交通省災害・防災情報 (<http://www.mlit.go.jp/saigai/index.html>)

=====

●下水道技術ビジョン説明会のお知らせ【国土交通省国土技術政策総合研究所】

国土交通省では、現在下水道技術ビジョンを作成中です。下水道技術ビジョンは、人口減少に柔軟に対応した汚水処理システムや、気候変動に伴う降雨の変化に対応した浸水対策をはじめ、下水道の今後の重要な課題を解決するため、11の技術開発分野についてロードマップを作成し、課題、目標、技術開発項目について整理したものです。本ビジョンは、「新下水道ビジョン」で示された長期ビジョンや中期目標を達成するため、必要な技術開発分野と技術開発項目を示したものです。つきましては、下水道技術ビジョンの内容をより理解いただくため、説明会を、東京会場及び大阪会場で開催しますので、ご参加いただきますようお願いします。

・開催日時：

【東京会場】 平成27年12月1日（火曜日）13:30～15:30

【大阪会場】 平成27年12月3日（木曜日）13:30～15:30

・開催場所：

【東京会場】 日本下水道協会5階大会議室 (<http://www.jswa.jp/about/access>)
〒101-0047 東京都千代田区内神田2-10-12 内神田すいすいビル

【大阪会場】 大阪合同庁舎第1別館2階大会議室
〒540-8586 大阪府中央区大手前1-5-44

※下水道技術ビジョンは、当日に配布します。

・参加申込：

参加費は無料です。

募集人数は先着順（100名程度）とします。

・参加をご希望の方は11月24日（火曜日）までに、必要事項（①希望会場（【12/1東京会場】又は【12/3大阪会場】）、②団体名、③申込代表者名、④申込人数、⑤連絡先（E-mail））を、本説明会の業務委託先である株式会社日水コン村田

（ gesui_info@nissuicon.co.jp ）

あてに送付下さい。（先着に漏れた方に対しては、申し込み後に当方より連絡します）

・お問合せ：

ご不明な点は、以下あてご連絡下さい。

国土交通省国土技術政策総合研究所下水道研究部下水道研究室 宮本（TEL 029-864-3343）

●アセットマネジメントの国際ワークショップの開催【一般社団法人京都ビジネスリサーチセンター】

アセットマネジメントに関する国際規格 ISO5500X シリーズが 2014 年 1 月に発行し、すでに多くの国々の多様なアセットに適用が広がりつつあります。その国際規格を開発する ISO の専門委員会 TC251 の国際会議が、日本で初めて横浜で開催されることとなりました。

そこで国内審議団体を務める一般社団法人京都ビジネスリサーチセンターでは、世界各国の専門家が一堂に会するこの機会に、アセットマネジメントの国際ワークショップを開催することといたしました。ISO55000 シリーズの世界各国における適用事例や様々な産業分野における浸透の状況について情報交換が行われ、世界のアセットマネジメントの最新かつ最先端に触れる絶好の機会といえましょう。ワークショップの言語は英語ですが、国土交通省からご協力いただき、言語に不安のある方でも参加しやすいよう同時通訳を配置いたします。皆様ふるってご参加くださいますようご案内申し上げます。

【日時】平成 27 年 11 月 10 日（火）14：00～18：00（13：30 受付開始）

【場所】日本丸訓練センター会議室（横浜市日本丸メモリアルパーク内）

詳しい情報とお申し込みについては、次の URL をご参照ください。

<http://kbrc.jp/isopc251/amws2015>

◆歩いてレベスタ！ 歩道に絵入りマンホール〈11/1 読売新聞〉

<http://www.yomiuri.co.jp/local/fukuoka/news/201511031-0YTNT50204.html>

◆<かわさき見聞記>都市水害から街を守る 市内最大の施設「洪川雨水貯留管」
〈11/1 東京新聞〉

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/kanagawa/list/201511/CK2015110102000127.html>

◆一関市が資源ビジョン策定 最先端の環境都市目指す〈11/1 岩手日報〉

http://www.iwate-np.co.jp/cgi-bin/topnews.cgi?20151101_7

◆（地エネ）バイオガス発電・横浜市 下水汚泥を有効活用＝訂正・おわびあり
〈11/2 朝日新聞〉

<http://www.asahi.com/articles/DA3S12048442.html>

◆モンゴル下水道運営、本格開始へ 静岡県など合意〈11/3 静岡新聞〉

<http://www.at-s.com/news/article/politics/shizuoka/167207.html>

◆生ごみで発電、鍵は分別 17年度から豊橋市〈11/3 中日新聞〉

<http://www.chunichi.co.jp/article/aichi/20151103/CK2015110302000052.html>

◆下水道平均10・24%上げ 岐阜市の公営企業経営審答申〈11/3 中日新聞〉

<http://www.chunichi.co.jp/article/gifu/20151103/CK2015110302000015.html>

◆もずやんのマンホールデザイン、どれにする？ 大阪府が一般投票〈11/5 産経ニュース〉

<http://www.sankei.com/region/news/151105/rgn1511050077-n1.html>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニューズレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20151030/>
